

足立区教育委員会 様

学 校 名 足立区立花保中学校
校 長 氏 名 佐 藤 悦 夫 印

平成 22 年度教育課程について (届)

このことについて、足立区立学校の管理運営に関する規則に基づき下記の通りお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

教育基本法、学校教育法および現行ならびに新中学校学習指導要領、東京都や足立区の教育目標の趣旨を踏まえ、新しい時代を創造するのにふさわしい心豊かでたくましい生徒を育成するために、次の目標を設定する。

- ・ 自ら学び向上し合う生徒
- ・ 心豊かで協力し合う生徒
- ・ 健やかでたくましい生徒

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育活動全体を通じて人間尊重・人権尊重の教育を推進し、個性・性差、障がいがある人々や高齢者等の一人一人の違いを認めて理解し、尊重し合う精神を培うとともに、自他の生命を大切にする心と実践力を育成する。
- ② 学力向上を目指し、生徒一人一人に各教科の基礎・基本を習得・活用できるよう、TT、少人数授業や放課後および長期休業日等の補充教室を実施し、習熟度別・課題別指導や個別指導等を通して個に応じた指導を行い、思考力・判断力に基づいた問題解決能力を育成する。同時に、教育活動全体を通して言語活動を充実させる。また、「はなほ学級」と連携して特別支援教育を充実させるとともに、家庭との連携を図り、学習習慣を確立させ、生徒が自己肯定感をもち、生涯を通じて学んでいこうとする意欲と態度を育てる。
- ③ 足立区民として、また国家および国際社会の発展に寄与できる人として、豊かな人間性や社会性を身に付けられるよう、日本の伝統・文化理解教育、国際理解教育、情報教育、福祉・ボランティア教育、環境教育および職場体験をはじめとするキャリア教育等を総合的な学習の時間を中心に実践するとともに、道徳の時間の指導の充実を図り、生きる力を育成する。
- ④ いじめ・不登校、性・薬物乱用に関する問題行動等、生徒の多様な課題に対応するため、学校における指導体制や相談機能を充実させる。また、規範意識を育てるために、家庭や地域社会および関係諸機関との連携を図る。
- ⑤ 生徒一人一人が健康管理能力や体力と運動能力の向上を図れるよう、食に関する指導や食育の推進および安全指導の充実等を通して、健康・安全への関心を高め、自ら進んで保持・向上する態度を育てる。
- ⑥ 近隣小・中学校や特別支援学校および都立高等学校との交流事業の推進・充実を通して、学びの連続性を図るとともに、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを理解させる。
- ⑦ 学校の教育活動に対する適正な自己点検・自己評価および開かれた学校づくり協議会の委員や保護者等の学校関係者からの外部評価を実施・公表して、次年度の改善に生かす。保護者・地域住民および関係諸機関とのネットワークと協働体制を構築し、人材として活用し、学校運営への積極的な参画を促す。

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ① 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」等の結果を踏まえ、「授業改善推進プラン」に基づく「確かな学力」を向上させるため、各教科において検証授業を実施する。また、指導と評価の具体的な計画と実施、週ごとの指導計画の作成と生徒の変容の記録を通して、指導と評価の一体化を図る。
- ② 教員相互によるピアレビューを継続し、校内研修を活性化させ、教員の「授業力」の向上を図る。
- ③ 生徒が主体的に授業に取り組むために、思考力・判断力・表現力・創造力を高めるよう、作業的、体験的学習を推進する。
- ④ 全学年で各テーマに応じた「スピーチコンテスト」等を実施し、論理的な話し方を身に付けさせるとともに、「朝読書タイム」・「読書週間」を設定、読書活動を推進し、言語活動を充実させる。
- ⑤ 個に応じた指導の一環として、「学習カルテ」を用い、個性・能力の伸長を図るとともに、家庭との連携を図り、生徒の学習習慣を定着させる。

○国語

- ・言語活動を充実させるために、i) 「話し言葉」と「書き言葉」の違いを徹底させる。ii) 接続詞、助動詞、敬語、丁寧語、謙譲語の使い方を理解させる。
- ・学習意欲の向上と基礎・基本の定着のために、「漢字コンテスト」・「慣用句・四字熟語コンテスト」・「標語コンクール」を計画的に実施する。

○社会

- ・「コモンセンステスト」を実施し、日本の県と県庁所在地の名前と位置、世界の国々と首都の名前と位置、歴史の年号、歴史上の人物等の基礎的事項を理解させる。
- ・課題解決学習を推進し、資料活用能力、思考力、判断力を育成し、「生きてはたらく力」を身に付けられるようにする。

○数学

- ・「計算コンテスト」等を活用した繰り返し学習を展開し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、TTや少人数授業の授業形態を有効に活用し、個に応じた指導の一層の充実を図る。

○理科

- ・自然の事物・現象に対する興味・関心を高めさせるため、観察・実験を通して、レポートの作成・報告ができるようにする。また、安全指導を徹底し、危機管理能力を身に付けさせる。

○音楽

- ・合唱、合奏等の表現活動を充実させ、音楽文化についての理解を深める。また、和楽器の演奏を通して、日本の伝統音楽の良さを味わわせる。

○美術

- ・絵画等の創造活動に重点を置き、各コンクール等に出品する機会を多く設定し、創造の喜びを味わわせ、豊かな情操を養う。

○保健体育

- ・小学校との接続を考慮し、運動の合理的な実践を通して、体力と運動能力の向上を図る。

○技術・家庭

- ・ものづくりや衣食住等についての実践的・体験的な学習活動を通し、生活に必要な基礎的な知識・技能を習得させる。

○英語

- ・「聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと」の各コンテストを実施し、語い等の確実な定着を図る。
- ・ALTの活用等を通して、自らの意見や考えを表現する力等、英語によるコミュニケーション能力を育成する。

イ 道徳

- ① 道徳教育推進委員会を設置し、道徳教育推進教師を中心に道徳の全体計画および道徳の時間の年間指導計画に基づいた道徳教育を推進し、道徳授業地区公開講座の活用等を通して、道徳の時間を確保・充実させるとともに、生徒に主体性のある日本人としての生き方を考えさせ、道徳的実践力を高めさせる。
- ② 家庭・地域社会と連携し、地域の異なる立場の人々から学び、足立区民としての自覚や誇りをもたせ、地域参画・ボランティア活動のできる生徒を育成するとともに、基本的な生活習慣と規範意識を育てる。

ウ 総合的な学習の時間

- ① 生徒に「生きる力」を身に付けさせるために、「L I F E」を大テーマに、主に第1学年では「中学生としての自分を知るとともに、自分の身近な地域を知ろう」の中テーマから「Learning」（学び方を学ぶ）、「Feelings」（日本人としての感性を磨く）、「Identity」（他者とのかかわりから自己の生き方を考える）、第2学年では「自分と自分を 取り巻く社会とのかかわりを考え、地域に返そう」の中テーマから「Learning」（学び方を学ぶ）、「Identity」（他者とのかかわりから自己の生き方を考える）、「Feelings」（日本人としての感性を磨く）、「Ecology」（環境と人間の 生き方を学ぶ）、第3学年では「社会体験を通して自分自身を見つめ、これからの生き方を考えよう」の中テーマから「Learning」（学び方を学ぶ）、「Identity」（他者とのかかわりから自己の生き方を考える）、「Feelings」（日本人としての感性を磨く）の各項目を設定する。
- ② 上記の各学年の項目から、地域・生徒の個性に応じて社会の変化に柔軟に対応できる小テーマを設定し、作業的、体験的学習を推進し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。また、各テーマの基礎学習となる読書活動を推進し、学校図書館の蔵書はテーマに沿ったものを取り揃える。

エ 特別活動

- ① 年間指導計画に基づいて学級活動や生徒会主催行事等、生徒を前面に出した主体的な活動を支援し、協力する態度や連帯感・成就感を育むとともに、これらの活動を通して、人間としての在り方を考えさせ、自己を生かす能力を育てる。
- ② 挨拶運動、地域清掃等を通じて、生徒一人一人に集団の一員としての自覚をもたせ、自分の役割や責任を果たさせるとともに、よりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を養う。

(2) 特色ある教育活動

- ① 近隣小・中学校、特別支援学校との連携や交流を充実させるとともに、保護者・地域と協働して生徒の健全育成と学びの連続性を図る。
- ② 特別支援コーディネーターを中心に、「はなほ学級」の教員、スクールカウンセラーとの情報交換・連携を密にするとともに、大学や関連諸機関とも行動連携を取り、特別支援教育の組織的対応と充実を図る。
- ③ 都立高等学校との交流事業等をさらに推進させ、生徒の主体的な進路選択能力を身に付けさせる。
- ④ 食育リーダーを中心に作成した食に関する指導の全体計画や年間指導計画との関連を図り、生涯にわたって健全な食生活を実現するための必要な知識について理解を深めさせる。
- ⑤ 将来設計能力等を育成するために、職業講話や職場体験等を通して、地域の人材を活用する。

(3) 生活指導

- ① 生きることのすばらしさに気付かせ、自他の生命を尊重する態度を育てるために、セーフティ教室の実施等を通して、生徒が健康で安全な生活を送り、自らの生命を守る態度と能力を身に付けさせる。

- ② 集団生活の中で円滑な人間関係を築いて生きていくためには、ルールの遵守が必要であることをあらゆる機会を通じて繰り返し指導する。
- ③ 生徒がインターネットや携帯電話等の情報機器を利用した誹謗・中傷や詐欺行為等の犯罪に巻き込まれないよう、警察との連携を取り合いながら指導を行う。
- ④ 特別支援教育に対する理解をさらに深め、特別な支援が必要な生徒のケース会議や特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援委員会を開き、個に応じた具体的な支援を推進するとともに、スクールカウンセラーと連携した相談体制を充実させる。また、家庭・地域社会・関係諸機関とさらなる行動連携を図る。
- ⑤ いじめの未然防止と早期発見のために「相談カード」を用いて組織的に取り組むとともに、いじめ問題の解決に向け、生徒会を中心に「いじめ撲滅運動」を実施する。

(4) 進路指導

- ① 生徒一人一人が自らの生き方を考え、生涯にわたって自己実現が図れるよう、「夢デザインシート」等を活用して自己理解を深め、それを十分に伸ばせるよう、自己教育力、人間関係形成能力等を育成する。
- ② 生徒自らが主体的に進路を考え選択する能力と望ましい勤労観・職業観を身に付けるために、第1学年「自分史・身近な職業調べ・地域の達人に学ぶ会」、第2学年では「職業講話・職場体験」、第3学年「高校訪問・出前授業」等を実施し、キャリア教育の視点を取り入れた3年間の計画的な進路指導を行う。

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	17	18	22	13	5	20	20	19	17	15	19	18	203
2	18	18	22	13	5	20	20	19	17	15	19	18	204
3	18	18	22	13	5	20	20	19	17	15	19	14	200
備考	○ 第1学年は、入学式が4月7日のため1日減となる。 ○ 第3学年は、卒業式が3月18日のため4日減となる。												

(2) 各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の年間授業時数配当表

		学 年			
教科・領域		1	2	3	
各 教 科	必 修 教 科	国 語	140	105	105
		社 会	105	105	85
		数 学	140	105	140
		理 科	105	140	105
		音 楽	45	35	35
		美 術	45	35	35
		保 健 体 育	90	90	90
		技 術 ・ 家 庭	70	70	35
		外 国 語 (英 語)	105	105	105
	小 計		845	790	735
選 択 教 科	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・家庭 外国語(英) その他特に必要な教科()	0			
	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・家庭 外国語(英) その他特に必要な教科()		50		
	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・家庭 外国語(英) その他特に必要な教科()			105	
	小 計	0	50	105	
道 徳		35	35	35	
総合的な学習の時間		65	70	70	
特別活動(学級活動)		35	35	35	
総 授 業 時 数		980	980	980	

備

考

ア 単位時間 1 単位時間は、50 分とする。

イ 選択教科

○ 第2 学年 2 教科 8 コース

配当時間 50 時間 通年および後期 15 週 生徒選択可能教科数 2

内 訳 : ① 35 時間

国語 (2) 数学 (2)

② 15 時間

国語 (2) 数学 (2)

○ 第3 学年 4 教科 8 コース

配当時間 105 時間 通年 生徒選択可能教科数 3

内 訳 : ① 35 時間

国語 (2) 理科 (1)

② 35 時間

国語 (2) 理科 (1)

③ 35 時間

音楽 (1) 技術・家庭 (1)

ウ 特別活動

- ・ 学級活動については、年間 35 時間を確保し、個々の生徒についての理解を深め、教育相談、進路相談を充実させるとともに、保護者との連絡を密にする。
- ・ 個人および社会の一員としての望ましい在り方を常に考えて行動できるよう、指導の充実を図る。

エ その他

- ・ 書写の指導に担当する授業時数は、1 年 (20 時間)、2 年 (20 時間)、3 年 (10 時間) とする。
- ・ 学びの連続性を視野に入れ、近隣の小学校と同じ教科や領域の授業参観ならびに研究協議を定期的に行うとともに、各小学校へ出前授業をする。また、ブロック内の中学校と、国語・数学・英語の基礎学力を共に向上させられるよう、授業参観や協議会を推進する。
- ・ 特別支援学校との交流については、継続して生徒・教員・保護者とともに行う。
- ・ 「はなほ学級」の教員、スクールカウンセラー、大学、関係諸機関との連携をさらに強化し、特別支援教育の組織的対応と充実を図る。
- ・ 都立高等学校との交流事業 (進路説明会、出前授業、授業参観、部活動合同練習等) をさらに推進する。
- ・ 食育の推進を通し、食事のマナー、自己管理能力等を身に付けさせる。
- ・ 学校裁量の時間は、年間 70 時間とし、①全校活動の時間 [学校行事指導、生徒会活動、全校美化活動] (30 時間)、②学年指導の時間 [学年行事指導、学年集会指導、学年学習活動] (20 時間)、③学級活動の時間 [学級活動、教育相談、個別指導] (20 時間) を実施する。

4 学校行事等

月	4		5		6		7		8		9	
	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
	木		土	開校記念日	火	振替休業日(3)	木		日		水	
	金		日		水		金		月		木	
	土		月	憲法記念日	木		土		火		金	
	日		火	みどりの日	金		日		水		土	
	月	春季休業日終	水	こどもの日	土		月	三者面談始	木		日	
	火	始業式	木		日		火		金		月	前期期末考査始
	水	入学式	金		月		水		土		火	
	木	対面式	土		火		木		日		水	前期期末考査終
	金	安全指導	日		水		金	避難訓練	月		木	
	土		月	安全指導	木	前期中間考査始	土		火		金	避難訓練
	日		火		金	前期中間考査終	日		水		土	
	月		水		土		月	安全指導	木		日	
	火	定期健康診断始	木		日		火	三者面談終	金		月	安全指導
	水		金		月	水泳指導始	水		土		火	
	木		土	運動会	火	安全指導	木		日		水	魚沼自然教室始
	金	避難訓練	日		水		金		月		木	
	土		月	振替休業日	木		土		火		金	魚沼自然教室終
	日		火	避難訓練	金		日		水		土	
	月	家庭訪問始	水		土		月	海の日	木		日	
	火		木		日		火	全校美化活動	金		月	敬老の日
	水		金		月	漢字コンテスト	水	夏季休業日始	土		火	
	木		土		火		木		日		水	
	金	離任式	日		水		金		月		木	秋分の日
	土		月		木		土		火	夏季休業日終	金	
	日		火		金	道徳授業地区公開	日		水	全校美化活動	土	
	月		水		土		月		木		日	
	火	家庭訪問終	木		日		火		金		月	
	水		金	修学旅行始(3)	月	避難訓練	水		土		火	
	木	昭和の日	土		火		木	補充教室終	日		水	
	金	計算コンテスト	日	修学旅行終(3)	水	定期健康診断終	金		月		木	スプリングコンテスト
			月	振替休業日(3)			土		火	職場体験学習終		

月 曜・行事	10		11		12		1		2		3	
	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	金	都民の日	月		水		土	元日	火		火	
2	土		火	振替休業日	木		日		水		水	
3	日		水	文化の日	金	漢字コンテスト	月		木		木	
4	月		木		土		火		金	安全指導	金	
5	火		金		日		水	補充教室終	土		土	
6	水		土		月	安全指導	木		日		日	
7	木	安全指導	日		火		金	冬季休業日終	月		月	安全指導
8	金	終業式	月		水		土		火		火	
9	土		火		木		日		水		水	
10	日		水		金		月	成人の日	木		木	避難訓練
11	月	体育の日	木		土		火		金	建国記念の日	金	合唱コンクール
12	火	始業式	金	計算コンテスト	日		水		土		土	
13	水		土		月		木		日		日	
14	木		日		火	三者面談終	金	安全指導	月		月	
15	金		月	避難訓練	水		土		火		火	
16	土	道徳授業地区公開	火		木		日		水		水	
17	日		水		金	避難訓練	月		木		木	
18	月	振替休業日	木	後期中間考査始	土		火		金		金	卒業式
19	火	避難訓練	金	後期中間考査終	日		水		土		土	
20	水		土		月		木		日		日	
21	木		日		火		金		月	避難訓練	月	春分の日
22	金		月		水		土		火		火	
23	土		火	勤労感謝の日	木	天皇誕生日	日		水		水	
24	日				金		月		木	学年末考査始	木	
25	月		木		土		火		金		金	修了式
26	火	都調査(2)	金		日	冬季休業日始			土		土	春季休業日始
27	水		土		月		木		日		日	
28	木		日		火			避難訓練	月	学年末考査終	月	
29	金		月		水		土					火
30	土	文化祭	火		木		日					
31	日				金		月	スペリングコンテスト				木

平成22年度 足立区立花保中学校 時程表

	平常授業 〔50分時程〕	45分時程
本 鈴	8 : 2 5	8 : 2 5
朝学習	8 : 2 5 ~ 8 : 4 0	8 : 2 5 ~ 8 : 4 0
朝学活	8 : 4 0 ~ 8 : 4 5	8 : 4 0 ~ 8 : 4 5
1時限	8 : 5 0 ~ 9 : 4 0	8 : 5 0 ~ 9 : 3 5
2時限	9 : 5 0 ~ 1 0 : 4 0	9 : 4 5 ~ 1 0 : 3 0
3時限	1 0 : 5 0 ~ 1 1 : 4 0	1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 2 5
4時限	1 1 : 5 0 ~ 1 2 : 4 0	1 1 : 3 5 ~ 1 2 : 2 0
給 食	1 2 : 4 0 ~ 1 3 : 1 5	1 2 : 2 0 ~ 1 2 : 5 5
5時限	1 3 : 4 0 ~ 1 4 : 3 0	1 3 : 2 0 ~ 1 4 : 0 5
6時限	1 4 : 4 0 ~ 1 5 : 3 0	1 4 : 1 5 ~ 1 5 : 0 0
終学活	1 5 : 3 5 ~ 1 5 : 4 5	1 5 : 0 5 ~ 1 5 : 1 5
清 掃	1 5 : 4 5 ~ 1 6 : 0 0	1 5 : 1 5 ~ 1 5 : 3 0
下校・週番	1 6 : 0 0	1 5 : 3 0